



Promesso 取扱説明書

2.0J 版 - 2018年12月



はじめに

Promesso はホット・コールド両対応の飲料ディスペンサーで、コーヒーとミルク原料をセットします。上質のコーヒーやミルクベースの飲料（カプチーノやラテマキアートなど）を、手軽に衛生的に楽しめるように設計されています。

本機には、高濃度抽出の原料パックを装着できます。オプションで 2 個のコーヒーパック、または 1 個のコーヒーパックと 1 個の濃縮ミルクパックを追加できます。

Promesso は、ショップ、オフィスや企業内従業員食堂、あるいは旅館やホテルの宿泊客やヘルス & ケアセンターの利用客向けに至るまで、さまざまなシーンでご利用いただけます。

製造者：Bravilor Bonamat BV

本書は、Promesso コーヒーマシンに付属する取扱説明書です。
(PRMSS-001/PRMSS-002/PRMSS-003/PRMSS-004/PRMSS005)



目次

1. 安全にお使いいただくために	4
2. 衛生上の注意とパックの取り扱い	5
3. パックのセット	6
4. 通常の操作	8
4.1 ドリンクを抽出する	8
4.2 機械を操作できないようにロックする	9
4.3 ユーザープロファイルの作成と編集	10
4.4 お湯を抽出する	11
5. 部品の概要と説明	14
6. ユーザーによるプログラミング	15
7. クリーニング	20
7.1 クリーニングについて	20
7.2 冷却室内部のクリーニング	20
7.3 ユーザーによる定期的なメンテナンス	20
7.4 毎日のクリーニング	21
7.5 クリーニングの手順	23
8. 困った場合は	25
8.1 画面に表示される記号の意味	25
8.2 エラーコード	26
9. スケール除去（水タンク式のみ）	29
10. 製品仕様	33

1. 安全にお使いいただくために

一般的な情報

重要：許可とトレーニングを受けた担当者以外は、本機の操作、補充およびクリーニングを行わないでください。新しい従業員が本機を操作する際は、事前に取扱説明書を読んでおり、かつ安全で衛生的な使用方法を把握していることを確認してください。

- 本機は、安全な使用方法や危険性について監督や指導が行われている場合に限り、8歳以上の子供、身体的（または感覚や精神的）あるいは経験や知識が不足している方であっても使用することができます。
- 子供を本機で遊ばせないでください。クリーニングやメンテナンスは、子供が一人で行うことのないようにしてください。
- 本機の設置、移設（水道管接続タイプの場合）、修理点検およびプログラミングは、専門業者以外は行わないでください。メンテナンスは、本機について（特に安全衛生に関する分野で）知識と利用経験のある担当者のみが行うようにしてください。

注意：本機からは非常に高温の飲料が抽出されます。火傷を防ぐため、抽出ボタンを押す前に手や体を抽出口付近から離してください。

警告：手や電源ケーブル・電源プラグが濡れている場合は、電源や電源プラグに触れないでください。

本機の電源コードが損傷している場合は、専門業者に交換を依頼してください。

設置と配置

- 蛇口からの水、水しぶき、水蒸気、熱や埃等がマシン周囲に無いことをご確認ください。
- 本機は、屋内のテーブルやカウンターといった、安定した水平面に設置するように設計されています。
- 機械の騒音値レベルは 70 デジベル未満です。
- 本機は、結露が起こらない湿度 10%～90%、気温 5℃～32℃の環境で動作するように設計されています。
- 直射日光、結露、雨水などが当たらないように注意してください。
- 換気のため、本機の周りには十分な空間を確保してください。また、修理点検時のために前方と後方にも十分な空間が必要です。
- 給水用ホースおよび配管部品は、EN61770 に準拠した部品のみを使用してください。（水道管接続タイプの場合）
- 本機を飲料水の配管に接続する際は、地方自治体の規則に従ってください。冷たい飲料の場合は、地域の規則を満たした安全な飲料を抽出できるよう、水道水の品質を確かめてください。（水道管接続タイプの場合）
- 電源をコンセントに接続する場合は、地域の規制に沿って接地された安全な電源プラグを使用してください。障害時に電流を遮断する安全スイッチが電気回路に接続されていること、および電源プラグは設置後も手が届く場所にあることを確認してください。

クリーニング

- クリーニングには指定のクリーニング洗浄剤を使用してください。

本取扱説明書で使用される安全関連の記号は、以下のとおりです。



安全ゴーグルや眼鏡の装着が必要



保護手袋の装着が必要



高温の表面や液体

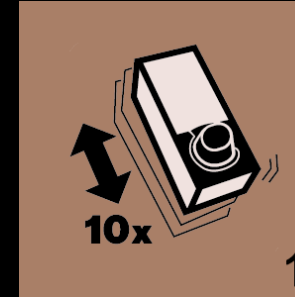
2. 衛生上の注意とパックの取り扱い



本機の取扱者は必ず衛生管理を行ってください。
原料を取り扱う際は、必ず事前に手を洗ってください。



- 本機には、食品用の洗浄剤以外を使用しないでください。
- 本機の表面は、湿らせた清潔な布で拭いてください。
- 強力な洗剤や研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- 本機の外装をクリーニングする際は、水道ホースや高圧ジェットを使用しないでください。

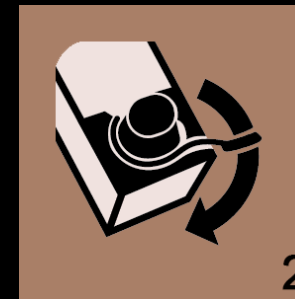


1

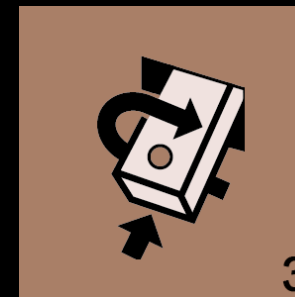


注意

パックの指定欄に日付（解凍日と賞味期限）を記入します。



2



3

1. 少なくとも 10 回は振ってからパックを装着してください。

パックが完全に解凍されていることを確認します。コーヒーが完全に解凍されていないと、コーヒーの品質に影響が出ます。

2. 切込みに沿って、保護キャップを取り外します。

- 衛生状態を保つため、ドーザー（原料パックの透明な出口）には触れないでください。
- 本機の内部に装着すると、衛生状態を保つためドーザーの先端部が熱湯で洗い流されます。

3. ドーザーが下になるようにパックを逆さにします。

- 機械のドアを開けます。
- パックを機械に入れ、オレンジ色のハンドルを持ち上げてパックを所定の位置にロックします。

3. 原料パックの（再）セット

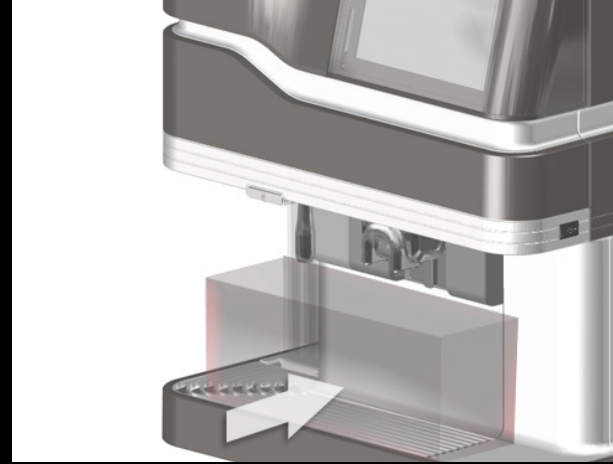


原料パックが空であるか存在しないことを示す、原料が空であることを示すアイコンがディスプレイに表示されます。

原料パックによっては、異なるアイコンが表示されます。

1. ミルクパックが空です
2. 両方のパックが空です（いずれの飲料も抽出できません）
3. コーヒーパックが空です

表示されるアイコンをタップすると、詳細が確認できます



1. 付属のコンテナをコーヒー抽出口の下に置きます。

- 原料パックを交換した後は、機械の洗浄が必要です。

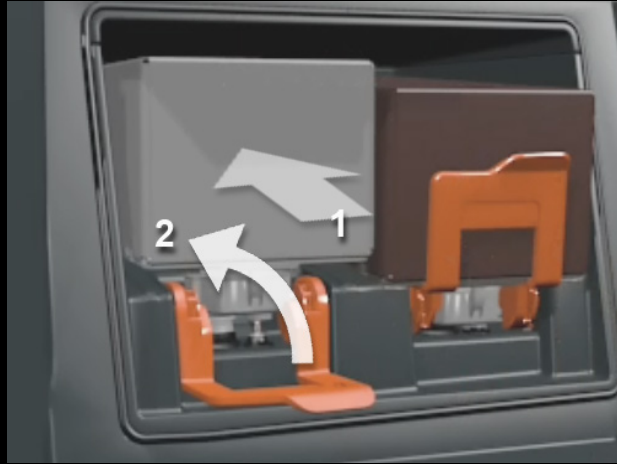


2. ドアを開きます。



3. 原料パックを取り出します。

- 1. オレンジ色のパック固定レバーを下に動かします。
- 2. パックを上を持ち上げ、空のパックを冷却室から取り出します。



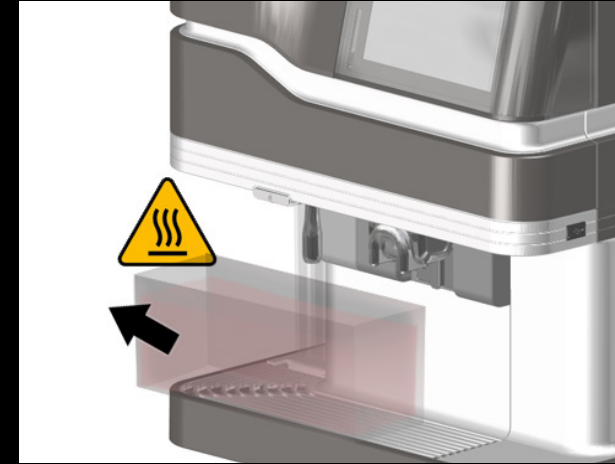
4. 新しいパックを挿入します。取扱方法は原料外箱に印刷されています。
(5 ページも参照)

- パックをセットします。
- オレンジ色のレバーを上動かして、原料をロックします。
- 機械のドアを閉じます。



- 5 洗浄 アイコンを押して洗浄を開始します。ミルクとコーヒーの抽出ラインが熱湯で洗浄されます。
(洗浄時間 = 約 1 分)

備考：設置後に初めてパックを挿入すると、クリーニングを促すメッセージが表示されます。



- 自動洗浄が完了したら、容器を空にします。
- これで機械を使用する準備が整いました。

警告： 洗浄中は、熱湯が抽出されます。

4. 通常操作



4.1 ドリンクを抽出する

- コーヒー抽出口の下にあるトレイにカップを置きます
- コーヒー抽出口は、カップのサイズに応じて上下に調整することができます。
注意：コーヒー抽出口の最適な位置はカップの真上です。
- 画面の右側から、ユーザモードタブを選択します。

注意

オペレータプログラミングモードでは、ユーザモードを追加・削除できます。

言語の選択

本機は、複数の言語に対応しています。ディスプレイの左上隅の地球(グローブ)アイコンを押し、言語を選択してください。(ここに表示されている言語はオペレータモードで設定できます)。

ドリンクメニュー：事前設定されたオプションの中からドリンクが抽出されます。

- ディスプレイに表示されている提供中のドリンクから選択します。
- ドリンクが強調表示され、**抽出開始**ボタンが表示されます。ボタンを押すと抽出が開始します。
- 抽出を中止するには、**停止**ボタン(画面中央)に表示)を押します。

注意 オペレータプログラミングモードでは、各種のドリンクについて設定をプログラムすることができます。

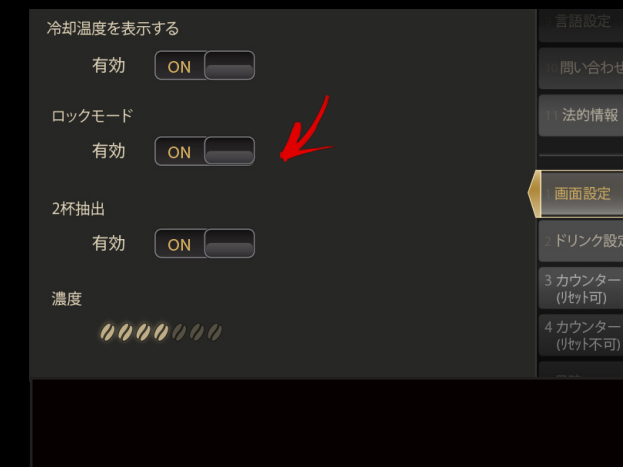
メニューカスタマイズ：ドリンクをカスタマイズする

- 希望するドリンクをスライドして選択します。

- 1. カップのサイズ (S,M,L) を選択します。
- 2. カップ数 (シングルまたはダブル) を選択します。

選択中のドリンクにはマーカーが表示されます。

- コーヒーを薄くする場合はマーカーを左側に、濃くする場合は右側にスライドさせます。右上隅に表示されるコーヒー豆の数も、それに応じて増減します。(3)
- (画面右上隅からコーヒー豆の量を選ぶことで濃さを調整することもできます。)
- ミルクベースのドリンクの場合：マーカーを上下にスライドさせて、ドリンクのミルク量を変更します。(4)
- 抽出ボタンを押して抽出を開始します。
- 抽出を中止するには、**停止**ボタン(画面中央に)に表示)を押します。



事前に設定したドリンクの抽出

- リストをスクロールしてプロファイル名を選択します
- パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

画面には、特定のタイムスロットに保存したドリンクが表示されます。

ここでは別のドリンクを選択することもできます。(4.3:「(カスタマイズした) ドリンクをプロファイルに追加するには」をご覧ください)。

- **抽出開始**を押すと抽出が開始します。
- 抽出を中止するには、**停止**ボタン(画面上に表示)を押します。

4.2 機械を操作できないようにロックする

許可されていない利用者に対して、機械の使用やドリンクの抽出を制限することができます。(画面の左側にはロックアイコンが表示されます)

機械がロックモードにある場合、使用するにはオペレーター用USBキーを挿入する必要があります。キーを取り外すと機械は再びロックされます。

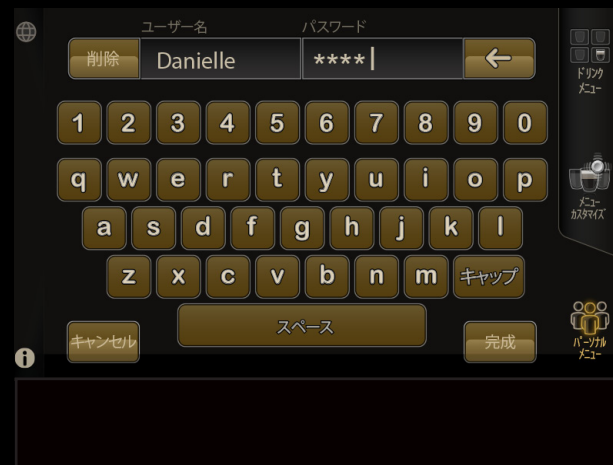
ロックモードを有効にするには：

- オペレータ用 USB キーを挿入します。

- UI 設定メニューをスクロールして「ロックモードの切り替え」を表示させます。
- ボタンを ON の方へスライドさせます。
- USB キーを取り外します。これでロックモードが有効になります。

ロックモードを解除するには：

- オペレータ用 USB キーを挿入します。
- UI 設定メニューをスクロールして「ロックモード有効」を表示させます。
- ボタンを OFF の方へスライドさせます。USB キーを取り外すと、ロックモードは解除されます。



4.3 ユーザープロフィールの作成と編集

ユーザープロフィールは次の手順で登録することができます。

注意

ユーザープロフィールの削除はオペレータープログラミングモードで行えます。

1. 「パーソナルメニュー」タブを押します。
2. ユーザーの追加アイコンを押します。

3. 名前を入力し、必要に応じてパスワード（オプション）も入力します

- 「完了」を押します。

画面に「Add photo（画像追加）」フィールドが表示されます。

4. 画像追加フィールドを押して続行するか、リスト内の名前をまたはタップして画像追加をスキップします。

5. 画像を追加する場合は、画像が入ったUSBメモリを挿入します。（USBメモリが挿入されていない場合は、挿入するように促すメッセージが表示されます）



6. USB メモリに保存されている画像を選択します。

- 画像は USB メモリのルートフォルダに保存されている必要があります。サブフォルダから読み取ることはできません。
- 対応している画像形式は、BMP、JPG、PNG です。

これでプロフィールの作成は完了です。

(カスタマイズした) ドリンクをプロフィールに追加するには：

- リストからプロフィール名を選択します。
(パスコードが設定されている場合は、入力する必要があります)
- ドリンクの追加アイコンを押します。

- 追加するドリンクを選択し、必要に応じてカスタマイズします。



画面下部にはタイムラインが表示されます。
ここでは、1日3個のタイムスロットに最大3つ
ドリンクを追加できます。

- タイムラインのマーカーを移動させることで、各タイムスロットの開始時刻と終了時刻を変更することができます。
(調整幅：30分単位)



- 希望のタイムスロットのタイムライン上に、ドリンクをドラッグ&ドロップします。



- 「完了」を押して画面を閉じるか、または「さらにドリンク追加」を押して別のドリンクを選択します。

別のドリンクを選択した場合は、別のタイムスロット、または既にドリンクを選択したタイムスロットにドリンクをドラッグ&ドロップできます。ドラッグ&ドロップすると、以前のドリンクは上書きされます。



プロフィールにアクセスすると、特定のタイムスロットに保存したドリンクが表示されます。

- 抽出開始ボタンを押して抽出を開始します。(別のドリンクモードから他のドリンクを選択することもできます)



4.4 お湯を抽出する

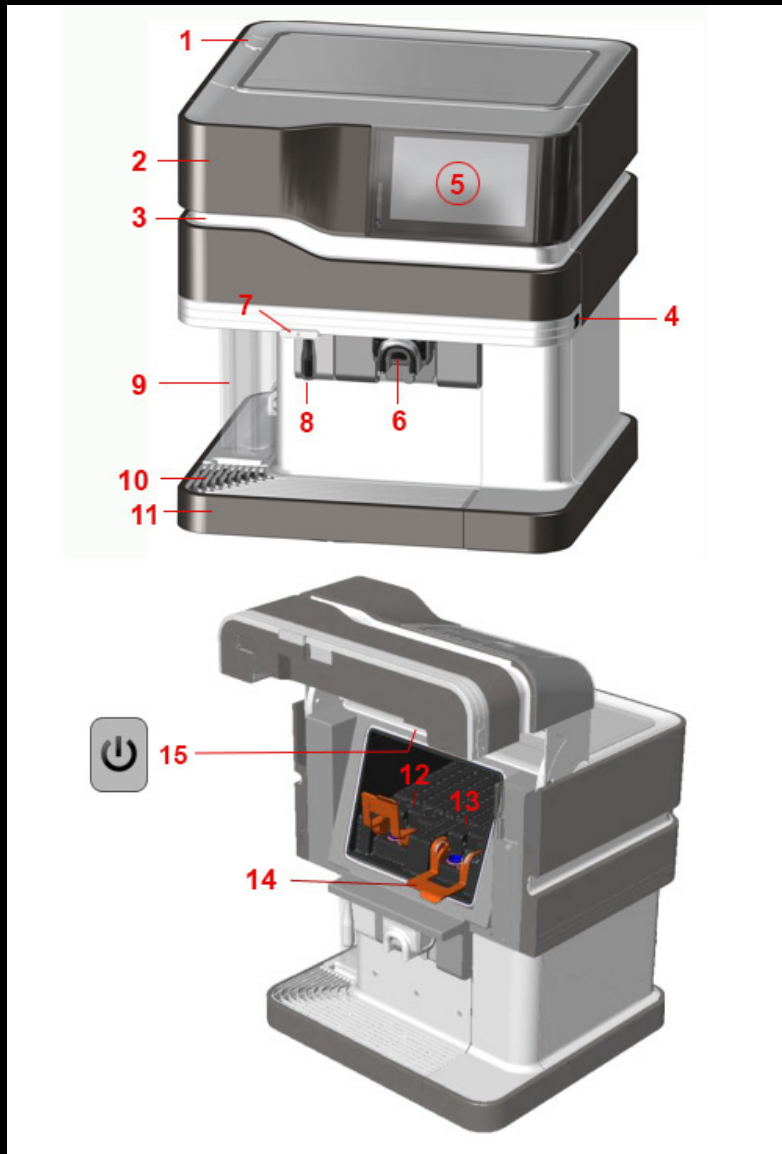
- カップを給湯口の下に置き、お湯のボタンを押します。
- お湯のボタンを押した場合、設定に応じて、ボタンを押している間は給湯が続く（連続モード）か、または一定量のお湯が給湯（定量モード）されます。

注意

- 給湯モード（連続 / 定量）および給湯量（定量モード）は、オペレータモードでドリンクの設定から変更できます。（デフォルト設定は連続モードです）

お湯を選択すると、画面には給湯方法が表示されます。

5. 部品の概要と説明



1. スケール除去剤用カバー
2. 本体ドア
3. LED バー
4. USB ポート
5. タッチスクリーン
6. コーヒー/ミルク飲料抽出口
7. お湯ボタン
8. 給湯口
9. カップグリッド
10. カップトレイ
11. ミルクパックセット位置
12. コーヒーパックセット位置
13. パック固定レバー
14. 電源/スタンバイボタン

6. ユーザーによるプログラミング



本機のオペレーターメニューでは、機械の設定や機能を変更することができます
(注：オペレーターメニュー内の一部の機能や設定は、専門業者のみ変更できます)

基本操作

- オペレータープログラミングモードにアクセスするには、付属のオペレーター用 USB キーを挿入します。
- リストから目的のサブメニューを選択します。
- USB キーを取り出すと、変更内容が保存されます。

以下のサブメニューが利用できます。

1. ユーザーインターフェイス (UI) 設定：ドリンクモードの有効・無効切り替え
2. ドリンクの設定：量と濃さの調整
3. リセット可能カウンタ
4. リセット不可カウンタ
5. ディスペンサー設定：LED バーの色を変更/スケール除去やクリーニングの開始
6. 日時
7. クリーニング日
8. ECO 設定：省エネモード
9. 言語設定
10. 連絡先情報：業者名と電話番号を入力
11. システム情報

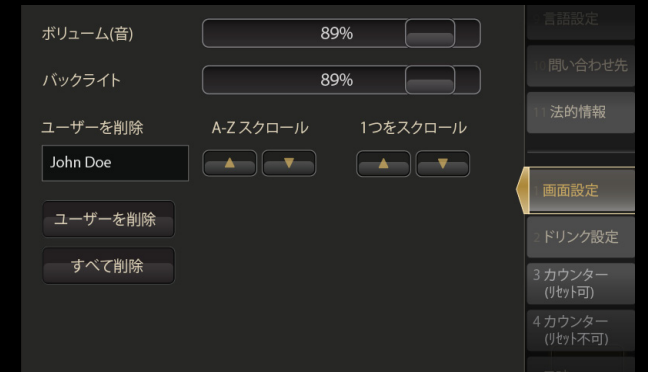
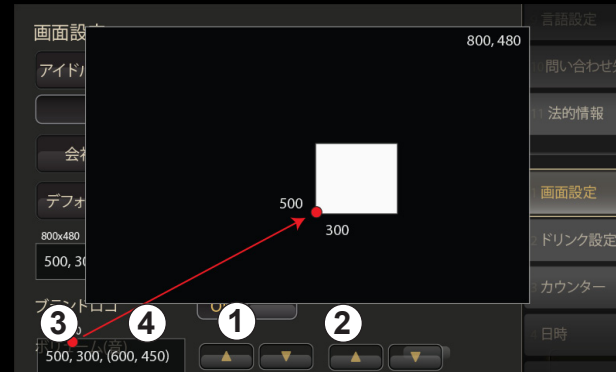


1. UI 設定

このメニューでは次の項目を調整できます。

- 各ドリンクモード（選択モード/カスタマイズ/パーソナルメニュー）の有効・無効切り替え ([UI の有効化])
- ドリンク調整の有効・無効切り替え (Make own [カスタマイズ] モード)
- ユーザープロファイル追加の有効・無効切り替え (パーソナルメニュー)
- 開始画面におけるドリンクモードのハイライトの有効・無効切り替え

- 指を使って下にスクロールします。画面には、次の設定が表示されます。
- 冷却室の温度表)
画面に実際の冷却温度が表示されます)
- ロックモードの切り替え)
- 2杯取り設定の切り替え)
- 濃さ (画面右上からコーヒー豆の量を選ぶことで濃さを調整できます。
ここでは既定の濃さを設定します)



指を使ってさらに下へスクロールします。画面には、次の設定が表示されます。

- ホーム画面：
 - 必要に応じて、画面を利用できない状態にし（点検中アイコンが表示されます）、点検中メッセージを入力することができます。
 - ホームメッセージ（クリックして文字を入力）：このメッセージはホーム画面に表示されます。
 - 待機メッセージ（クリックして文字を入力）：このメッセージは、スタンバイやECO モードで表示されます。

注：ホームメッセージや待機メッセージの作成時に改行、特殊文字や大文字を入力するには、テキストパッドの[shift] ボタンを押します。

メッセージを改行するには：[enter] を押すと ¶ 記号が挿入されます。この記号の後のテキストはすべて改行されます。

指を使ってさらに下へスクロールします。画面には、次の設定が表示されます。

- 会社ロゴの表示・非表示：画面にロゴを表示（ON）または非表示（OFF）にする場合に選択します。ボタンをクリックして、USB メモリから画像をアップロードします。
- デフォルトのロゴに戻す：ブランド（Promesso）ロゴに戻します
- 会社ロゴの位置決め枠/キー。上下の矢印でロゴ画像の位置を変更します。（画面の左下隅が基準になります）
- Brand logo（ブランドロゴ）の表示・非表示：ブランド（Promesso）ロゴの表示（ON）・非表示（OFF）を切り替えます。

ロゴ画像について：

ロゴ画像をアップロードした後は、上/下キーを使用することで画面内の配置を変更できます。

注：画面の解像度は 800 x 480 ピクセルです。実用上、これよりも解像度が高い画像をアップロードすることは推奨されません。

- 左側の上下矢印を使用すると、ロゴを左右に移動できます（0 = 左 / 800 = 右）
- 右側の上下矢印を使用すると、ロゴを下上に移動できます（0 = 下 / 480 = 上）
- ロゴの位置は枠内に表示されます。最初の 2 つの数字は、ロゴの左下隅の位置を示します。
- 丸括弧内の 2 つの数字は、ロゴの右上隅の位置を示します。

指を使ってさらに下へスクロールします。画面には、次の設定が表示されます。

- 音：鳴らす音やチャイムを選択します
- Backlight（バックライト）の明るさ設定
- Delete users（ユーザーの削除）：すべて、または特定のユーザープロファイルを削除できます。
 - 特定のユーザープロファイルを削除するには、上下矢印を使用してプロファイルを選択し、「Delete user（ユーザーの削除）」を押します。

ドリンク設定	問い合わせ先
カフェ	法的情報
濃度 -9%	1.画面設定
S 97 ML	
M 121 ML	2.ドリンク設定
L 194 ML	3 カウンター (リセット可)
カプチーノ	4 カウンター (リセット不可)
濃度 0%	日時
S 100 ML	
M 125 ML	

カウンター(リセット可)	法的情報
☐ S: 12 ☐ M: 145 ☐ L: 9	1.画面設定
エスプレッソ	2.ドリンク設定
☐ S: 8 ☐ M: 99 ☐ L: 12	
ルゴ	3 カウンター (リセット可)
☐ S: 10 ☐ M: 150 ☐ L: 21	4 カウンター (リセット不可)
抽出杯数トータル: 710	マシン設定
S: 30 M: 394 L: 42	日時
カウンタのリセット	
すべてリセット	
選択項目をリセット	

カウンター(リセット不可)	1.画面設定
総抽出量カウンタ 1067L	2.ドリンク設定
超過量 110L	3 カウンター (リセット可)
設定量を超えた後のディスペンサーブロック	4 カウンター (リセット不可)
ディスペンサーブロック ☐ ON	マシン設定
リセット	日時
	7. クリーニング曜日

マシン設定	2.ドリンク設定
一般設定	3. カウンター (リセット可)
クリーニング 今すぐ開始	4. カウンター (リセット不可)
フラッシング 今すぐ開始	5. マシン設定
コーヒーパックがほとんど空の表示 ☐ ON	6. 日時
450ML	7. クリーニング曜日
150ML	8. 省エネモード設定

2. ドリンクの設定

このメニューでは、標準的なドリンクが一覧表示されます。それぞれのドリンクについて、コーヒーの濃さと量（小、中、大から事前に選択可能）をスライダで調整できます。

- コーヒーの濃さの範囲：-10% ～ +20%
- 量の範囲（小）：設定なし、50 ～ 150 ml
- 量の範囲（中）：62 ～ 187 ml
- 量の範囲（大）：設定なし、100 ～ 300 ml

3. リセット可能カウンタ

このメニューでは、提供可能なドリンクごとに抽出回数が一覧表示されます。抽出回数は、ドリンクの種類とサイズ（小、中、大）ごとに表示されます。画面の下部には総数が表示されます。

カウンタを個別にリセットする：

- チェックボックスを押してドリンクを選択し、画面の一番下までスクロールします。
- 「個別リセット」ボタンを押してカウンタを0にリセットします。
- 「All（すべてリセット）」ボタンを押すと、すべてのカウンタがリセットされます。

4. リセット不可カウンタ

このメニューでは、総抽出量がリットル単位で表示されます。

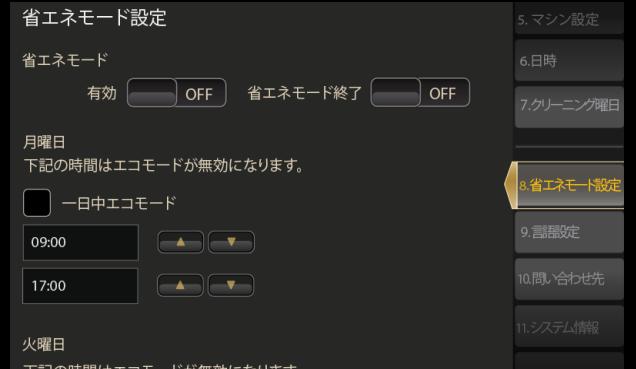
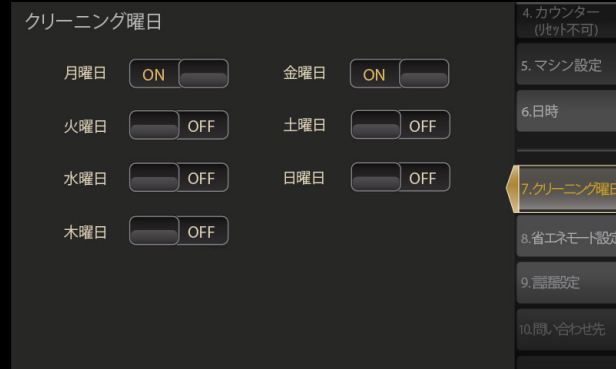
- 機械の操作を制限した後は、超過量にリットル数値を入力することができます。
- ディスペンサーブロックを有効/無効にしたり、ブロックをリセットしたりすることもできます。

5. 機械設定

このメニューでは、以下の操作を手動で開始できます。

- スケール除去、クリーニング、洗浄
- 「残量低下時に警告する」を有効（ON）にできます。
次の2種類の残量警告音について、スライダにより残量を調整できます。

残量設定 1（パック残量 1/3）
残量設定 2（パック残量わずか）



6. 日時

このメニューでは次の項目を調整できます。

- 日時設定。
- 24 時間表示のオン・オフ。例：オン = 16 : 31 / オフ = 4:31 PM

サマータイムを選択することもできます。

- 上下矢印を押して、広域を選択します。
- 次に、首都/都市/国を選択します。夏時間は自動的に調整されます。

7. クリーニング日

必須のクリーニング操作を、曜日ごとに有効・無効にすることができます。

注記

曜日が選択されていない場合は、クリーニング操作が最後に実行されてから 7 日後にクリーニングを促すメッセージが表示されます。

8. ECO 設定

ECO メニューでは、省エネモードの有効/無効を切り替えたり、モードの時間設定を変更したりすることができます。

- 省エネモードが有効でない時間帯（通常使用時間）の開始時刻と終了時刻を曜日ごとに入力できます。
- 「**省エネ解除**」機能は、無効/有効を切り替えることができます。この機能を有効にすると、ECO モードを中断して飲料を抽出できるようになります。飲料を抽出した後は、予め設定された時間が経過してから ECO モードに戻ります。（標準設定 = 30 分）

ドアカバーに沿って点灯する照明バーの色も、ここから設定/調整できます。（ライトストリップ RGB）。

- 左側のバーでは、色を選択できます。右側のバーでは、色の明るさを設定できます。色の変更はすぐに反映されます。

3 種類のシーン（待機状態、抽出中、お湯・冷水）ごとに色を設定できます。

さらに下までスクロールすると、「スケール除去」ボタンがあります。このボタンを押すとスケール除去操作を手動で開始できます。（29 ページ参照ください）



9. 言語設定

- ディスプレイの表示言語を選択します。
 - リストで一番上にある言語がデフォルト言語になります。
 - 言語は、ここに入力した順序で表示されます。
- 注意：**オペレータモードについても言語を選択することができます。
「operator mode（オペレータ モード）」までスクロールダウンし、言語を選択します。

10. 問い合わせ先

このメニューでは、運用者の名前と電話番号を入力できます。ここでの名前と電話番号は、ユーザー情報メッセージで担当者として表示されます。

11. システム情報

この画面には、現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

「Legal info（法的情報）」画面には、該当する法律や著作権についての通知が表示されます。

7. クリーニング

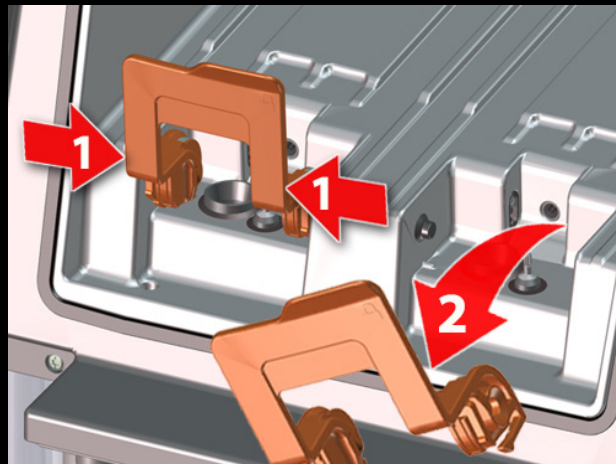


7.1 クリーニングについて

衛生状態やドリンクの品質を維持できるよう、いくつかの部品については定期的にメンテナンス・クリーニングすることが推奨されています。また、本機は衛生状態を保つための自動クリーニング機能も備えています。

- **クリーニング**：クリーニング操作は、少なくとも週に1度は実行してください。（約7分間）
- **洗浄**：新しいパックを挿入した際に、ドーザーと抽出口の先端を熱湯ですすぎます。（約1分間）
- **クリーンショット**：最後にミルク系飲料を抽出してから30分後に、少量の熱湯で抽出口を洗浄します。（約6秒間）

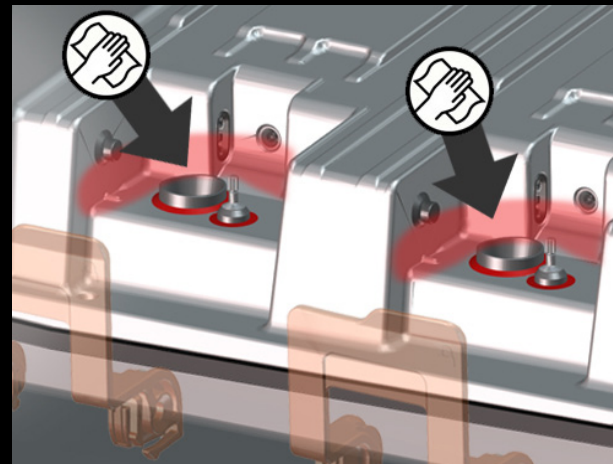
※必要な作業手順は画面に表示されます。



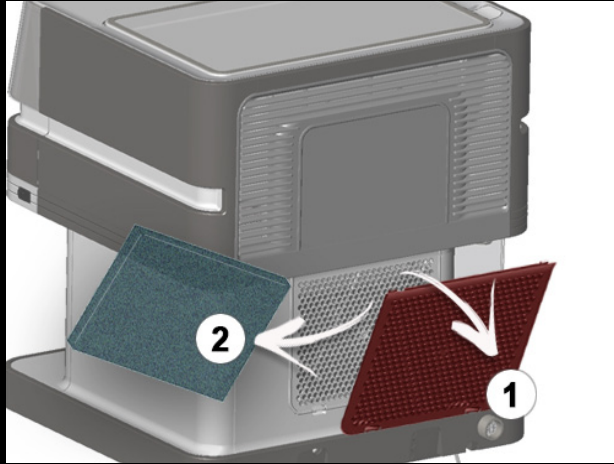
7.2 冷却室内部のクリーニング

冷却室の内側をクリーニングする際に、場合によっては上記の手順でレバーを取り外す必要があります。

1. レバーの両側を内側に押します。
2. レバーを取り外します。



冷却室の内側に成分（コーヒーやミルク）がこぼれた場合：図示された部分をくまなくクリーニングしてください。



7.3 ユーザーによる定期的なメンテナンス

機械の背面にある冷却フィルター（2）は定期的に洗浄してください（3か月に1回）。ほこりの多い環境で機械を使用している場合は、洗浄頻度を増やしてください。

- ①冷却カバーを取り外します。

- フィルタを取り出して水道水で洗浄した後、乾燥させてから戻します。

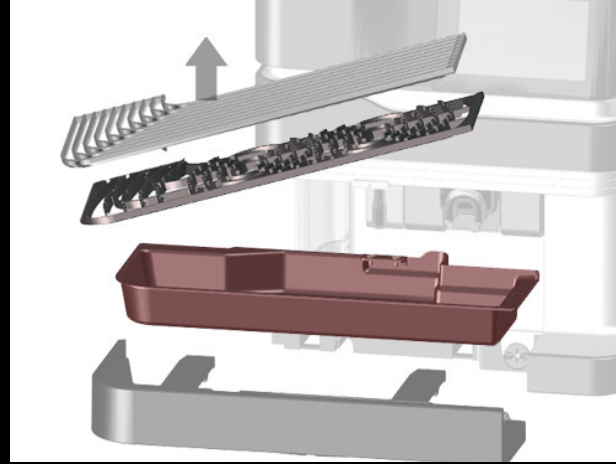


7.4 毎日のクリーニング

衛生上の理由から、以下の作業は毎日行うことを推奨しています。

- 清潔な布を濡らし、機械の外装を拭きます。

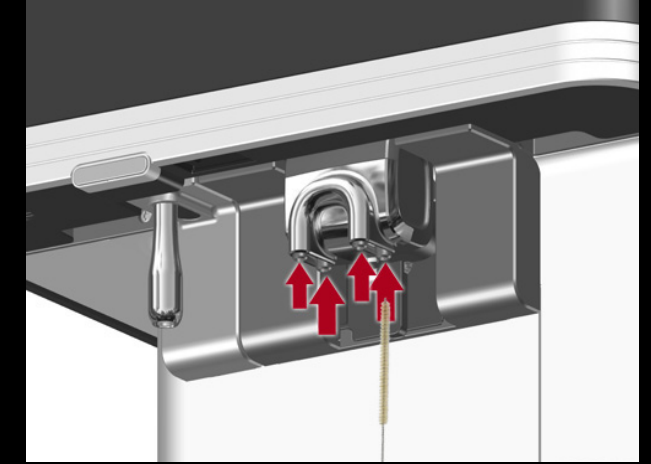
重要：食用洗剤以外は使用しないでください。強力な洗剤や、研磨材入りの洗剤は絶対に使用しないでください。



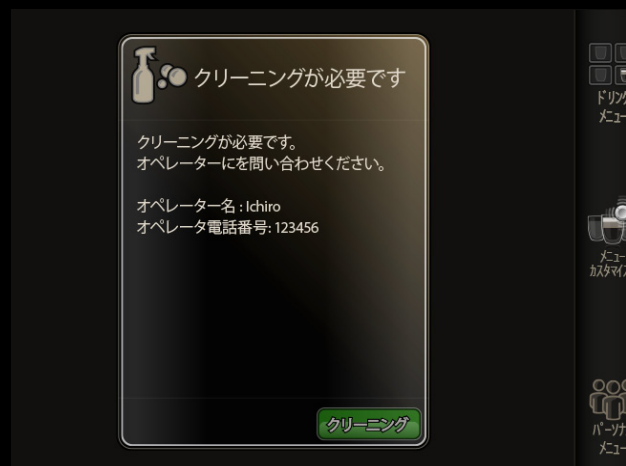
- ドリップトレイとグリッドのクリーニング



- 付属のブラシでコーヒー/ミルクの抽出口をクリーニングします。その後は、きれいな布を濡らして拭きます。



- 付属のクリーニングブラシで抽出口をクリーニングします。



7.5 クリーニングの手順

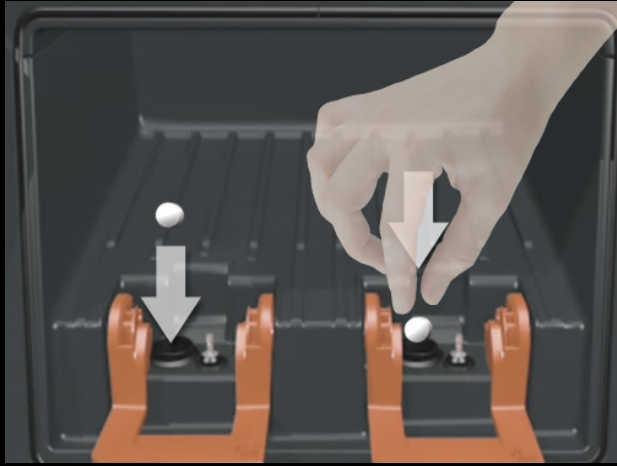
- 画面のクリーニングアイコンを押します。情報が表示されます。
- 「クリーニング」ボタンを押すとクリーニングが始まります。

- 機械のドアを開けます。

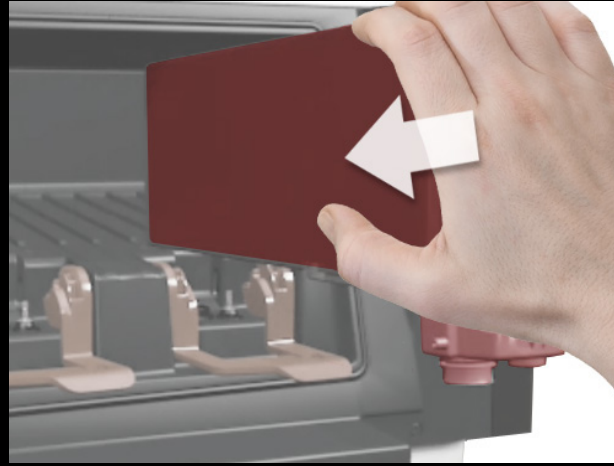
- 原料パックの固定レバーを押し下げて、原料パックを取り出します。

重要：パックを持ち上げから取り出してください。

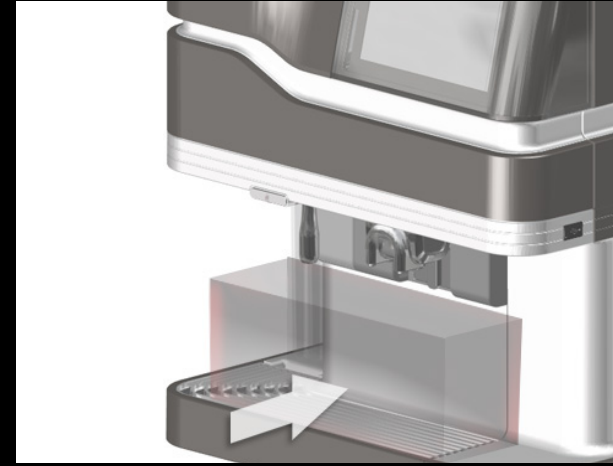
- 清潔な布を濡らし、冷却室の内部を拭きます。
- 乾いた清潔な布やペーパータオルで冷却室を拭きます。



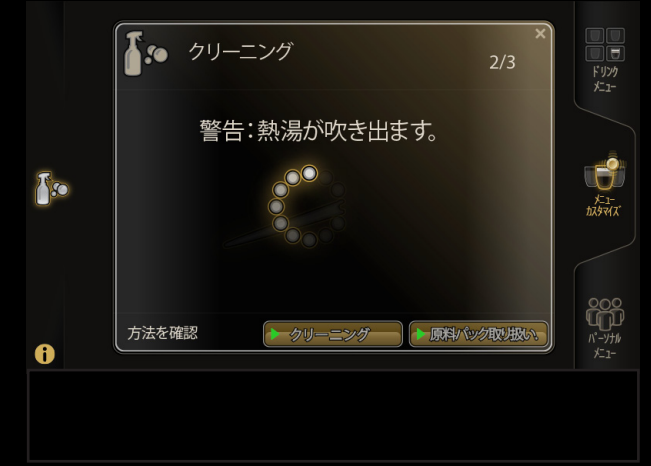
- 2つのミキシングチャンバーに洗浄剤を入れます。



- 原料パックを戻し、機械のドアを閉じます。



- 抽出口の下にあるカップトレイに、付属のコンテナをセットします。。



- 画面の「Clean（クリーニング）」ボタンを押します。お湯が流れ出します。

注意：抽出口から熱湯が抽出されます。

注意：クリーニング操作が完了していない場合、またはクリーニング操作をもう一度実行する場合は、最初にコンテナを空にしてください。（コンテナの容量は2リットルです）

これでクリーニング作業は完了です。

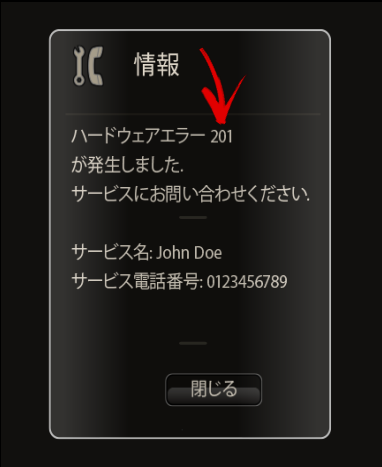
- 必要に応じてドリップトレイを空にし、抽出口や機械の外装をクリーニングしてください。

8. 困った場合は

8.1 画面に表示されるアイコンの意味

アイコン	表示されるタイミング	対処方法	アイコン	表示されるタイミング	対処方法	アイコン	表示されるタイミング
	浄水器の交換が必要です	浄水器の交換については、運用業者にお問い合わせください		ドリップトレイが満杯です	ドリップトレイを空にしてください		コーヒーの残りがわずかです この場合の状況は、次の2つのいずれかです。
	クリーニングまたは洗浄作業が必要です。アイコンが強調表示されていない場合は、xx時間/日以内にクリーニングする必要があります。	機械をクリーニングまたは洗浄してください（=自動洗浄プログラムを実行）		スケール除去が必要です	スケール除去操作を実行してください		1.コーヒーパック残量が1/3表示されるメッセージ：新しいパックを解凍してください。解凍には2～3日かかります。
	コーヒーパックが空です	コーヒーパックを確認・交換してください		ウォームアップ中（ECOモード）です	機械が動作温度に達するまでお待ちください（連続抽出や、クリーニングを行った後等にも表示されます。）		2.コーヒーの残りがわずか表示されるメッセージ：コーヒーの残りがわずかです。パックが冷蔵庫で解凍されていることを確認してください。
	ミルクパックが空です	ミルクパックを確認・交換してください		水道管が接続されていないか、または給水されていません（水道管接続タイプのみ）	給水状態を確認してください（水道の元栓が閉まっているか、など）		
	制限されているため利用できません	制限を解除するには、運用業者に連絡してください		抽出できないか、または抽出が制限されています	このアイコンが表示される場合は、通常、別のアイコンと情報も表示されます（パック残量低下、など）		エラーが発生しました。詳細については、アイコンをクリックしてください。 詳細については、次のページを参照してください。
	ドリップトレイが未挿入か、または完全に挿入されていません	ドリップトレイを挿入し、正しく接続されていることを確認してください					

8.2 エラーコード



エラーが発生すると、エラーアイコン（電話機とレンチ）が表示されます。

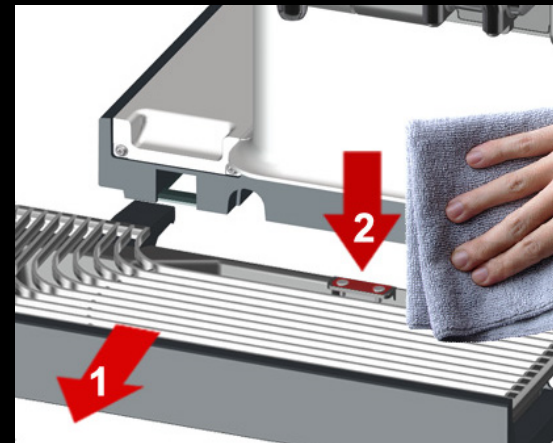
- 画面の情報アイコンを押すと、追加情報が表示されます。（図を参照）

実際のエラーはエラー番号として表示されます。（赤い部分）

エラーコード番号によっては、次の対処方法によりユーザー自身でエラーを解決できます。

エラー	原因	対応処置
エラーコード (11/12/19)	時間内に、ボイラーにが給水されません	給水状態を確認し、水道の元栓が開いていることを確かめてください。水道フィルターが設置されている場合：フィルターのレバーが完全に開いていることを確かめてください。エラーが解消しない場合は、運用業者にお問い合わせください。
エラーコード (18)	待機時に抽出バルブを水が通過しました。給水口を閉じてください	運用業者に連絡してください。
エラーコード (21)	時間内に、給湯器が動作温度に達しませんでした	機械をリセットします。電源コードを 10 秒間抜いてください。 エラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (24)	給湯器が動作温度に達していません	動作温度に達するまでお待ちください エラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (26)	湯垢が蓄積し、配水管に影響が出ています	スケール除去操作を実行してください その後もエラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (27)	ドリフトトレイが検出されません	ドリフトトレイが正しく設置されていることを確認してください
エラーコード (30/31)	冷却温度が高すぎます	冷却室のドアが正しく閉じられており、機械の後方に十分な換気スペース (12 cm 以上) が確保されていることを確認してください。 機械をリセットします。電源コードを 10 秒間抜いてください。適切な冷却温度に達するまでには時間がかかる場合もあります。 冷却フィルターを点検・クリーニングしてください。20 ページをご覧ください。 エラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (32)	異常な冷却温度です	運用業者に連絡してください。
エラーコード (61/63/64)	内部バルブエラー	機械をリセットします。電源コードを 10 秒間抜いてください。 エラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。

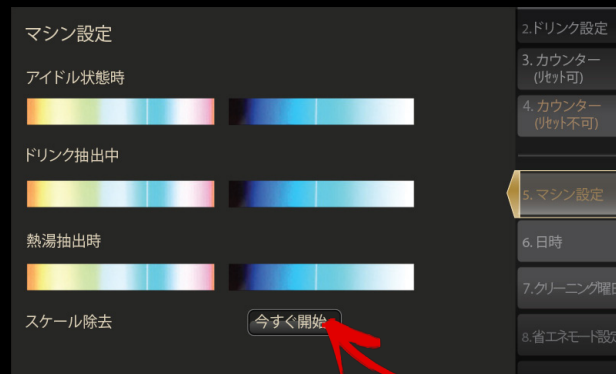
エラー	原因	対応処置
エラーコード (71)	洗浄操作が一定期間内に実行されていません	洗浄操作を実行してください
エラーコード (73)	クリーニング操作が一定期間内に実行されていません	クリーニング操作を実行してください
エラーコード (74)	オペレーターモードで設定された水量カウンターを超えました	オペレーターモードを開いてカウンターをリセットしてください
エラーコード (97)	給湯ボタンが押され続けています	給湯ボタンが固まっていないか確認し、可能であれば引き戻してください
エラーコード (25/81/95//216-219)	内部エラー	機械をリセットします。電源コードを 10 秒間抜いてください。 エラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (202)	スケール除去操作が完了していません	スケール除去操作を実行・完了してください。 その後もエラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (203)	ドリップトレイが満杯です	ドリップトレイを空にしてくださいドリップトレイ (1) を取り外し、水位検出センサーの接点 (2) を清掃してもエラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。



エラー	原因	対応処置
エラーコード (205)	原料パックが検出されません	原料パックが正しく取り付けられていることを確認してください。 原料パックを取り出し、振ってから戻してください。 ドーザー (パックの透明部分) を乾いた布できれいに拭いてください。> 新しい原料パックを挿入してください
エラーコード (206)	給水に問題があります	給水状態を確認してください。蛇口が開いていることを確かめてください。 水道フィルターが設置されている場合: フィルターのレバーが完全に開いていることを確かめてください。 その後もエラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
ドアの解放 (208)	ドアが完全に閉じていません	冷却室のドアを完全に閉めて下さい。
ECO モードが有効 (209)	省エネ (ECO) モードが有効になっています	ドリンクを選択し、機械が抽出可能温度に達するまでお待ちください
機械のロック (210)	機械の操作がロックされています	オペレーター用 USB キーを挿入してロックを解除してください
エラーコード (211)	クリーンショット (ミルク系飲料を抽出した後の短い洗浄) を実行できませんでした	ドリップトレイを確認し、空にしてください ドリップトレイ用センサーの接点をクリーニングしてください (26ページ参照ください) 機械をリセットします。電源コードを 10 秒間抜いてください。 その後もエラーが解消しない場合は、メンテナンスにお問い合わせください。
エラーコード (214)	待機時に抽出バルブを水が通過しました。給水口を閉じてください	運用業者に連絡してください。
コーヒーの濃さが 毎回異なり、 濃さも足りない	コーヒーパックが正しく配置されていないか、またはパックがよく振られていません コーヒーパックが完全に解凍されていないか、部分的に凍結しています	コーヒーパックを確認します。少なくとも 10 回は振ってからパックを装着してください。 パックを完全に解凍するまで待つか、完全に解凍したパックに置き換えるかしてください パックが完全に解凍されていることを必ず確認してください
ディスプレイボタンの位置が タッチ画面の領域と一致しない		電源コードを抜き、再び電源を入れます。画面が自動的に較正されます。



9. スケール除去（水タンク式のみ）



スケール除去を開始する前に

- スケール剤の指示ラベルをお読みください。必要であれば保護具を装着してください。

スケール除去操作の開始方法

一定量（設置時に設定）の水が排出された後、画面にアイコンが表示されます。

- スケール除去アイコンをクリックし、画面の指示に従ってスケール除去操作を開始します。オペレータプログラミングモードでは、いつでもスケール除去操作を開始できます。

- USB キーを端子（機械右側）に挿入します。

オペレータプログラミングモードでスケール除去を開始するには：

重要：この操作は完了するまでに約 45 分かかります。また、開始後に中止や中断することはできません。

- 「Machine settings（機械設定）」>「Descaling（スケール除去）」を選択します。
- 「Start now（今すぐ開始）」を押します。

スケール除去操作：ステップごとに解説

- ドリフトトレイを取り外し、排水ホースを引き出します。

- 10 リットルのバケツを用意し、排水ホースをバケツに置きます。
- ホースからキャップを外します。

注：ホースには少量の冷水が残っているため、キャップを取り外すと流れ出てきます。



- 排水弁を反時計回りに回して開きます。

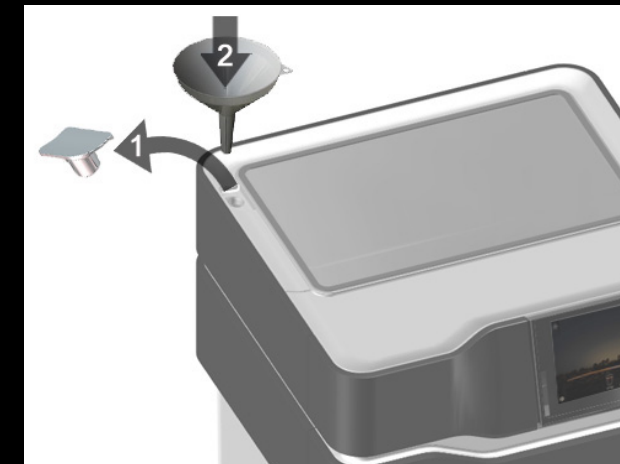


配水管から約 2 リットルの熱湯が排出されます。

注意：熱湯が吹き出ます。



- 排水弁を時計回りに回して閉じます。
- ホースにキャップを取り付けます。
- 排水ホースを機械に戻します。
- ドリフトトレイに戻します。
- 「Continue（続行）」を押します。
- タッチ画面で「Continue（続行）」を押して続行します。

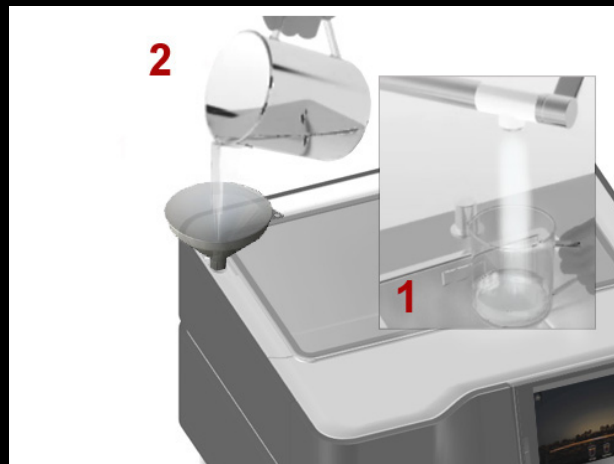


- 脱スケール剤の注入口からキャップを取り外します。
- じょうご（装置に付属）を注入口に挿入します。



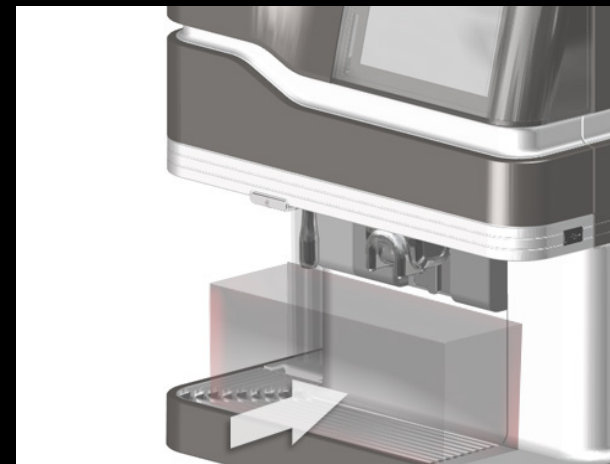
注意：次の操作には、手袋と安全眼鏡を使用してください。

1. 計量カップに 100 ml のスケール除去剤を入れ、500 ml のぬるま湯（40℃ 前後）で溶かします。
2. スケール除去剤が完全に溶けるまで十分にかき混ぜてください。
3. スケール除去剤が溶けたら、じょうごに注ぎ入れます。



1. 計量カップは、きれいな水ですすぎます
2. 脱スケール剤の注入口に、100 ml のきれいな水を注ぎます。

これにより、機械内部の脱スケール剤用チューブが洗浄されます。



- 抽出口の下にあるカップトレイに、付属のコンテナを乗せます。
- タッチ画面で「Continue（続行）」を押して続行します。

機械の給湯器に水が注入され、加熱を開始します。必要な温度に達すると、抽出口を通して洗浄を開始します。

洗浄には最大で 3 リットルの水が使用されます。



- ディスプレイに「EMPTY FLUSH BIN（コンテナを空にしてください）」というメッセージが表示されたら、コンテナを取り出して空にします。

注意：熱湯が吹き出ます。

- タッチ画面で「Continue（続行）」を押して続行します洗浄操作が再開されます
- 水の流れが止まったら、コンテナを取り出して空にします。

排出・洗浄の作業をもう一度繰り返します。
必要な作業は画面に表示されます。

- 詳細については、次のページも参照してください。



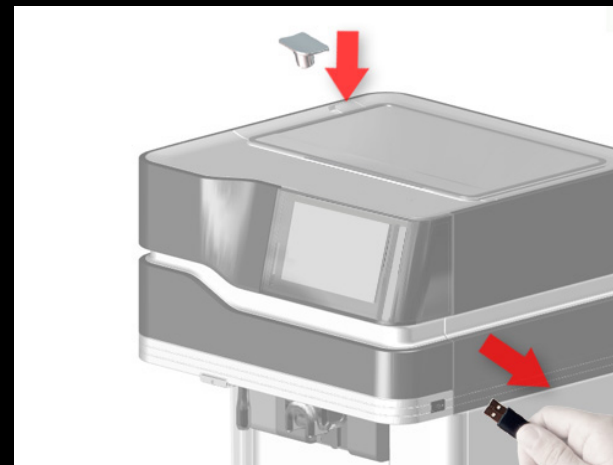
給湯器についても、以下の手順で排水操作を行ってください。

- ドリップトレイを取り外し、排水ホースを引き出します。
- 10 リットルのバケツを用意し、排水ホースをバケツに置きます。
- ホースからキャップを外します
- 排水弁を反時計回りに回して開きます。
- 水がホースから出なくなったら、排水バルブを時計回りに回して閉じます。
- ホースにキャップを取り付けます。
- 排水ホースを元に戻し、ドリップトレイを取り付けます。



洗浄操作を繰り返します。

- 抽出口の下にあるカップトレイに、付属のコンテナを乗せます。
- タッチ画面で「Continue (続行)」を押して続行します。
- ディスプレイに「EMPTY FLUSH BIN (コンテナを空にしてください)」というメッセージが表示されたら、コンテナを取り出して空にします。
- タッチ画面で「Continue (続行)」を押して続行します洗浄操作が再開されます。
- 水の流れが止まったら、コンテナを取り出して空にします。



スケール除去操作を完了させる：

- 脱スケール剤の注入口からじょうごを取り出します。
- 脱スケール剤の注入口にキャップを取り付けます。
- オペレータ用 USB キーを取り外します。

10. 製品仕様

寸法	水道管接続タイプ 必要な設置スペース	(高さ) 480 mm x (幅) 450 mm x (奥行き) 450 mm (高さ) 680 mm x (幅) 550 mm x (奥行き) 570 mm (機械背面に換気用スペース120 mm、および両側に 50 mm)
重量	乾燥時 稼働時	24.1 kg 29 kg
提供可能なドリンク		ルンゴ、カプチーノ、エスプレッソ、リストレット、カフェオレ、カフェラテ、 ラテマキアート、ドッピオ、ホットミルク、お湯
対応カップサイズ	最大高さ	145 mm (コーヒー抽出口) / 125 mm (給湯口)
電源	定格消費電力 待機時	100 V 50/60 Hz 1450 W 83 W
抽出容量	最大 連続抽出可能杯数	1 時間あたり 85 杯 (125 ml/1 杯の場合) 9 杯 (125 ml/1 杯の場合)
環境	温度 湿度	5°C ~ 32°C (稼働時/保管時) 湿度 10% ~ 90%
冷却室	容量 温度	原料パック 2 本 (コーヒー、ミルク) 2°C ~ 5°C
原料パック	コーヒー ミルク	1.4 リットル 1.4 リットル
給水方式		水道管接続 給水接続 (水圧: 1 ~ 10 bar / 100 ~ 1000 kPa)